

2018年11月16日

Drone Fund

Drone Fund が出資している株式会社自律制御システム研究所 (ACSL) が新規上場承認

- 日本国内でドローンの中核的な事業としたスタートアップで初の上場承認。
- 日本郵便の福島県の郵便局の拠点間輸送に ACSL の機体が導入。補助者なしの目視外飛行で国内初の承認を実現。
- 点検や測量、防災、物流などの分野で産業用ソリューションを提供。



株式会社自律制御システム研究所 (ACSL) のマザーズへの新規上場が日本取引所グループに承認されました。ACSL は、点検や測量、防災、物流などの分野で、ドローンによる産業ソリューションを提供してきました。

日本は生産年齢人口減少やインフラ老朽化、大規模災害などのリスクに直面しています。こうした中で、持続的な経済成長を実現するためには、ドローンやロボットなど、新しいテクノロジーの社会実装は不可欠です。

ACSL のソリューションが、ドローン前提社会の実現をリードしていくことを期待しています。

千葉功太郎（Drone Fund 代表パートナー）コメント

「株式会社自律制御システム研究所（ACSL）の新規上場承認のニュースを大変嬉しく思っています。日本国内として初めてのドローン専門スタートアップの上場であり、ハードウェア・制御ソフトウェア共に国産で研究開発している技術系スタートアップということで、日本のドローン業界の躍進の第1歩になると感じています。ACSLは、元々は千葉大学での研究開発からの大学発スタートアップとして生まれ、今では国内外様々な研究者や技術者が全て独自に開発する体制を実現しており、特にGPS電波が届かない工場内など屋内空間における産業用自律制御ドローンの企業提供を得意としております。ACSLの機体は、日本郵便の福島県における拠点間輸送に導入されました。この拠点間輸送は、補助なしでの目視外飛行の国土交通省による初の承認事例で、空の産業革命におけるロードマップのレベル3（無人地帯での目視外飛行）をリードするものです。Drone Fundとしては日本初のドローン専門上場企業の支援を通して、さらにドローン前提社会の実現に向けて加速して参ります。

株式会社自律制御システム研究所について

社名： 株式会社自律制御システム研究所
代表取締役社長： 太田 裕朗
所在地： 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1 WBG マリブウエスト 32階
ウェブサイト： <http://www.acsl.co.jp/>

Drone Fund について

略名称： Drone Fund（ドローンファンド）
正式名称： 千葉道場ドローン部1号投資事業有限責任組合
千葉道場ドローン部2号投資事業有限責任組合
運営会社： 鎌倉インベストメント株式会社、千葉功太郎
所在地： 東京都港区芝公園3-1-8 芝公園アネックス6F
ウェブサイト： <http://dronefund.vc>

本発表資料のお問い合わせ先

Drone Fund 広報担当： pr@dronefund.vc

プレスリリース内画像素材：

<https://www.dropbox.com/sh/kps5nhwt4kb3ghj/AACY7y9SBBfhC9h0YaywfaVWa?dl=0>